



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東
 コード番号 3932 URL https://aktsk.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 元規
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 経営企画部担当 (氏名) 小川 智也 TEL 03 (5422) 7757
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,763	42.8	2,463	70.9	2,423	71.5	1,597	63.0
2019年3月期第1四半期	4,737	6.4	1,441	△34.6	1,413	△36.8	980	△39.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,568百万円 (59.3%) 2019年3月期第1四半期 984百万円 (△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	115.18	109.56
2019年3月期第1四半期	70.92	67.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,629	25,154	68.6
2019年3月期	37,843	23,757	62.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 25,128百万円 2019年3月期 23,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	10.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

当社グループは、主としてモバイルゲームを含む新規コンテンツの企画、開発及び運用を行っており、短期的な事業環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であります。そのため、今後につきましては、四半期毎の決算や事業の概況の適時な開示に努めることにより、通期の業績予想については開示しない方針とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	13,914,800株	2019年3月期	13,902,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	44,977株	2019年3月期	36,760株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	13,868,594株	2019年3月期1Q	13,819,971株

- (注) 1. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2020年3月期1Q：44,852株、2019年3月期：36,635株）を、自己株式に含めて記載しております。
2. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2020年3月期1Q：38,037株、2019年3月期1Q：17,839株）を期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の回復及び設備投資の増加を背景に景気の緩やかな回復が見受けられたものの、中国経済の減速、英国の欧州連合（EU）離脱問題や米国発の貿易摩擦問題を背景に、2019年4～6月の全産業の景況判断指数（BSI）が2四半期連続してマイナスに転じるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するモバイルゲーム業界を取り巻く環境につきましては、2019年の世界のゲーム市場規模は前年比10.2%増の1,519億ドルへ成長するとともに、その中でも最も大きな割合を占めているモバイルゲームについては前年比16.6%増の820億ドルの市場規模へ成長することが見込まれており（出典：newzoo「Mobile Revenues Account for More Than 50% of the Global Games Market as It Reaches \$137.9 Billion in 2018」）、引続きグローバルで成長し続ける業界であると考えられております。

このような環境の中、当社グループのモバイルゲーム事業につきましては、より高いクオリティとユーザー体験にこだわり、タイトルを厳選して開発・運用していく方針の下、既存タイトルの堅実な運用と新規タイトルの開発に努めてまいりました。主力タイトルである株式会社バンダイナムコエンターテインメントとの協業タイトル「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」は、グローバルで長期・大規模運営のノウハウが更に蓄積しており、国内外で底堅く推移いたしました。また、2018年12月にリリースしました株式会社スクウェア・エニックスとの協業タイトル「ロマンシング サガ リ・ユニバース」については、2019年5月に1,500万ダウンロードを突破し、ストアセールスランキング（注）で1位を獲得するなど、モバイルゲーム事業の新たな収益の柱として好調に推移いたしました。

一方、当社グループのライブエクスペリエンス事業（以下、「LX事業」という。）につきましては、リアルエンターテインメント領域への取り組みを積極的に行っており、2019年3月にオープンいたしました横浜駅直通の複合型体験エンターテインメントビル「アソビル」がオープン後約3ヶ月間で来館者数が100万人を突破するなど、好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,763百万円（前年同期比42.8%増）、営業利益2,463百万円（同70.9%増）、経常利益2,423百万円（同71.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,597百万円（同63.0%増）となっております。

なお、当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメントごとの記載を省略しております。

（注）ストアセールスランキング：App Store またはGoogle Playのセールスランキング

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,213百万円減少し36,629百万円となりました。主な要因として、投資有価証券の増加1,420百万円があった一方で、売掛金の回収等による減少1,782百万円、現金及び預金の減少625百万円及びその他流動資産の減少235百万円によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2,611百万円減少し11,475百万円となりました。主な要因として、納付等に伴う未払法人税等の減少1,971百万円、その他流動負債の減少482百万円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,397百万円増加し25,154百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,597百万円及び剰余金の配当139百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、モバイルゲーム事業・LX事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、新規領域で様々なチャレンジを実施していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であるため、2020年3月期の業績見通しにつきましては開示しない方針とさせていただきます。

なお、業績見通しが適正かつ合理的に算出できる状況になりましたら、適時に開示する方針でございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,276	23,650
売掛金	6,127	4,344
その他	1,582	1,347
流動資産合計	31,985	29,342
固定資産		
有形固定資産	1,671	1,691
無形固定資産		
ソフトウェア	80	79
無形固定資産合計	80	79
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876	4,296
その他	1,253	1,288
貸倒引当金	△24	△69
投資その他の資産合計	4,105	5,516
固定資産合計	5,857	7,287
資産合計	37,843	36,629
負債の部		
流動負債		
買掛金	636	674
1年内返済予定の長期借入金	350	325
未払法人税等	2,868	897
賞与引当金	141	—
株式給付引当金	166	153
その他	2,103	1,621
流動負債合計	6,266	3,670
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,808	2,783
その他	11	21
固定負債合計	7,820	7,804
負債合計	14,086	11,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,743	2,750
資本剰余金	2,742	2,749
利益剰余金	18,424	19,883
自己株式	△171	△217
株主資本合計	23,739	25,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△24
為替換算調整勘定	△3	△12
その他の包括利益累計額合計	△7	△36
新株予約権	25	26
純資産合計	23,757	25,154
負債純資産合計	37,843	36,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,737	6,763
売上原価	1,766	2,048
売上総利益	2,970	4,715
販売費及び一般管理費	1,529	2,251
営業利益	1,441	2,463
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	—	5
協賛金収入	—	4
その他	2	0
営業外収益合計	2	11
営業外費用		
支払利息	4	4
社債発行費	23	—
為替差損	2	2
貸倒引当金繰入額	—	45
その他	0	0
営業外費用合計	30	52
経常利益	1,413	2,423
税金等調整前四半期純利益	1,413	2,423
法人税等	433	825
四半期純利益	980	1,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	1,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	980	1,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△20
為替換算調整勘定	△1	△8
その他の包括利益合計	4	△29
四半期包括利益	984	1,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	984	1,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。